

夏の平和映画会上映会のご案内

平和映画会は2013年「人間の条件」、2015年「満蒙開拓団の落日」、2017年「米軍が最も恐れた男 その名はカメジロー」の上映会に取り組んできました。また2022年は「わが青春つきるとも」の上映にも関わり、多くの方々のご協力をいただけてきました。

今年は戦後80年の記念の年です。日本の国はこの80年間どうにか平和を維持してきましたが、ウクライナやパレスチナで、ミャンマーやスーダンでは、悲惨を極める戦闘と殺戮が続いています。防衛予算は8兆円に膨らみ、NATO 諸国では GDP5%まで事費を増やすというニュースが出るなど、戦争を想定した動きが強まっています。

日本人だけで310万人、アジアを中心に2千万人といわれる太平洋戦争の犠牲、8500万人といわれる第2次世界大戦の犠牲とは何だったのか。いま、やはり、そこに立ち返っておきたいと、以下の二つのドキュメント映画上映会を企画しました。

以前の上映会の残余金をもとに、「入場無料・カンパ歓迎」で何とか成功させたい。多くの皆様のご参加をお待ちします。

事務局 加藤嘉信/松尾重信 090-3349-6849

戦後80年記念企画第1弾

4時間37分一挙上映 東京裁判 (小林正樹監督・講談社)

と き:8月15日(金) 10:30~16:00

ところ:仙台戦災復興記念館研修室(65席限定・先着順)

※途中昼食休憩をはさみます。昼食のご用意をお願いします。

戦後80年記念企画第2弾

三上智恵監督 長編記録映画 戦雲(いくさぶむ)

と き:8月31日(日)

第1回上映 10:30 から

第2回上映 14:00 から

ところ:若林区中央市民センターセミナー室

(若林図書館のある建物の2F)

上映会を呼びかけます:草場裕之・小野寺勉・小林立雄・橋元森雄・小野寺久美子